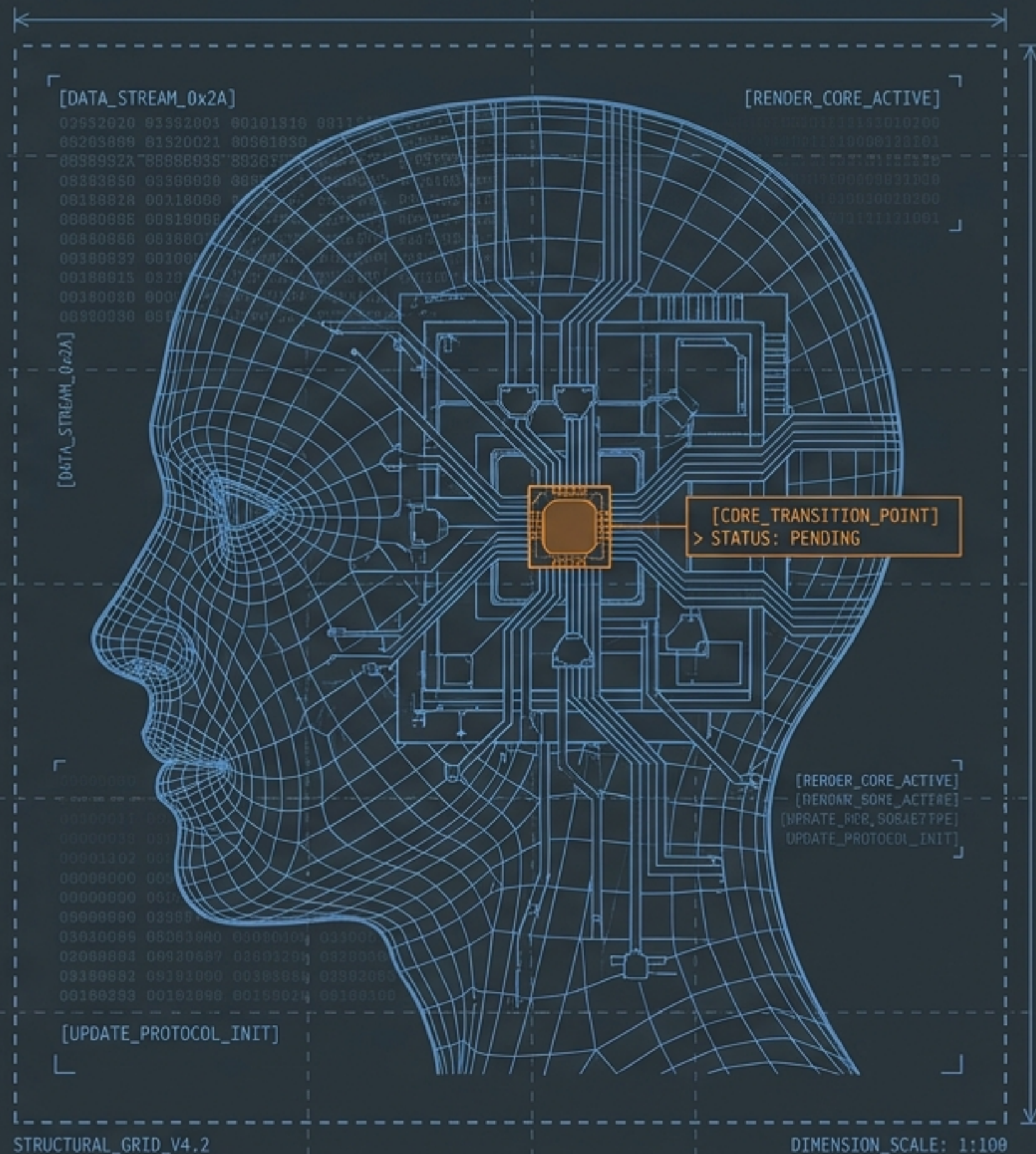


アセンションの正体

次元上昇とは「現実のレンダリング方式」が
アップデートされること

Shin-Peter Z / 大山 俊輔



キャッシュのクリア：アセンションの誤解と真実

誤解 - Myths

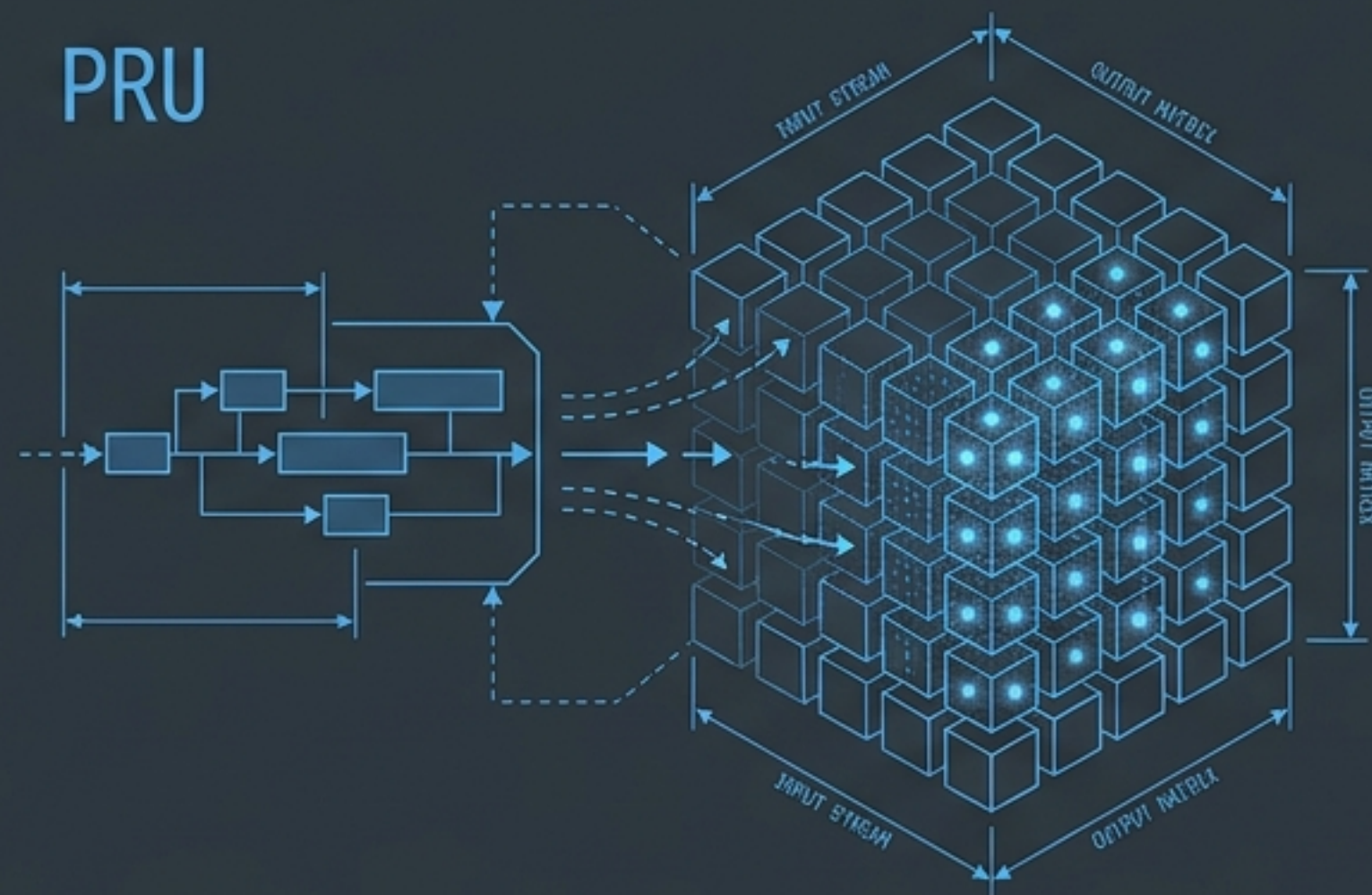
- トランプや銀河連合による救済
- 3次元から5次元への物理的なワープ
- 自分だけが消えてしまう逃避行



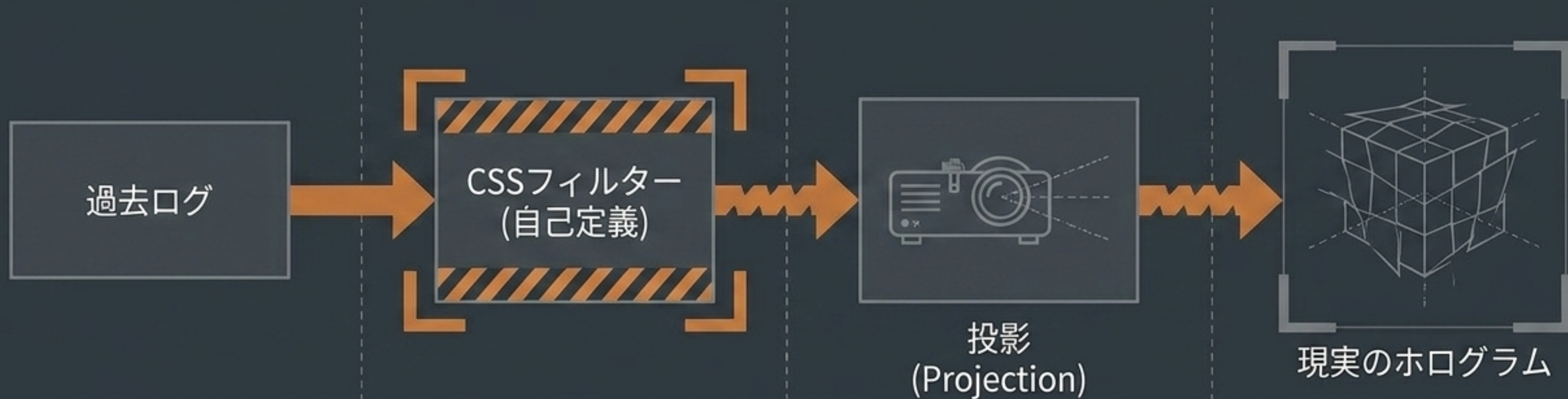
真実 - Reality

- PRU（現実レンダリングエンジン）の規格変更
- 意識の読み込み方式が物理的・システムのシフトする現象
- 物理的な環境は維持されたまま光が最適化される

PRU



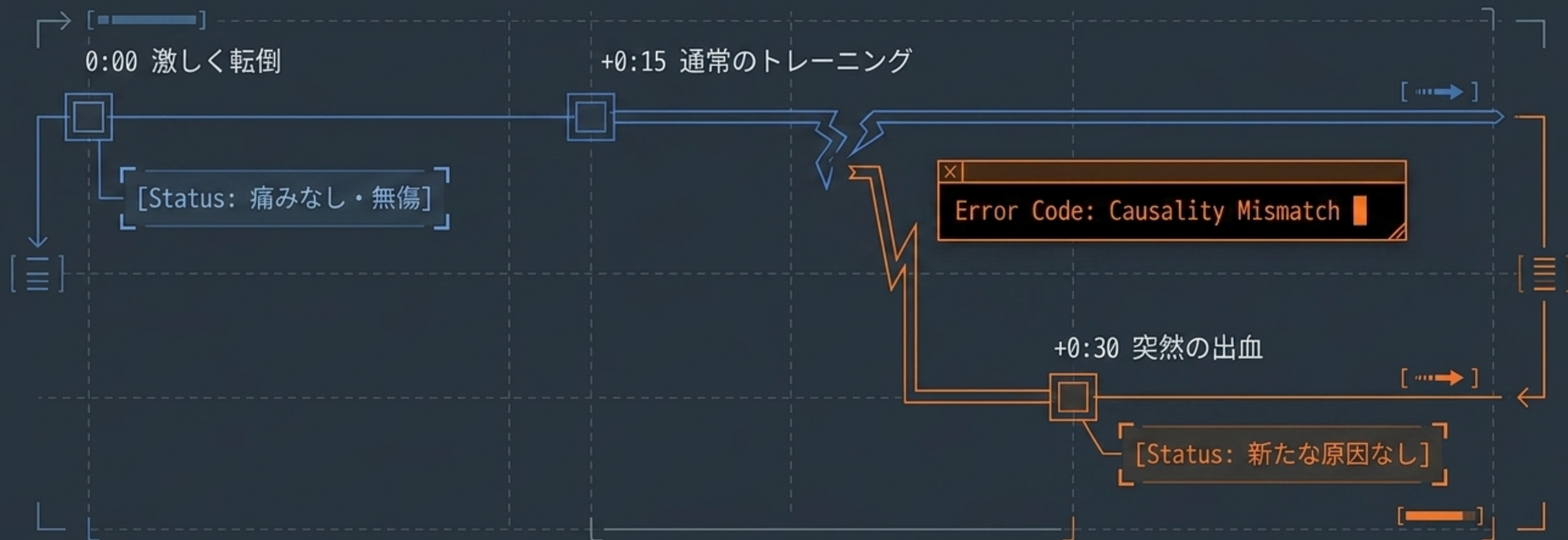
レガシー・アーキテクチャ：「Me OS」の投影モデル



[SYSTEM SPECS]

データソース：過去の経験・トラウマ
レンダリング手法：内部データを外部に投影
システム負荷：生存本能に直結、常に高負荷
結果：劇的な変化が起きない閉じたループ

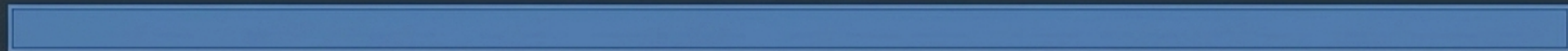
警告サイン：因果律のデカップリング



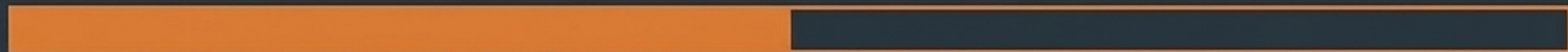
「原因」と「結果」がズレ始める。Me OSが崩壊し始めると、古い物語の辻褃合わせが遅れて発生する。これはレンダリング処理が破綻し始めた証拠。

ファームウェアの準備：観念統合（マグナム・オープン）

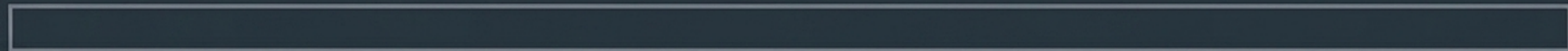
Phase 1: ニグレド（観念統合祭） [Complete] [■■■■■■■■■■]



Phase 2: アタノール（反復と無害化） [In Progress] [■■■■□□□□]



Phase 3: ルベド（再起動準備） [Pending] [□□□□□□□□]



- 目的は「CSSの削除」：自己定義というフィルターを無害化する作業。
- 観念のダウングレード：完全に消すのではなく、現実を体験するための「遊び用のフィルター」へと権限を下げる。

SYSTEM_REBOOT_INITIATED



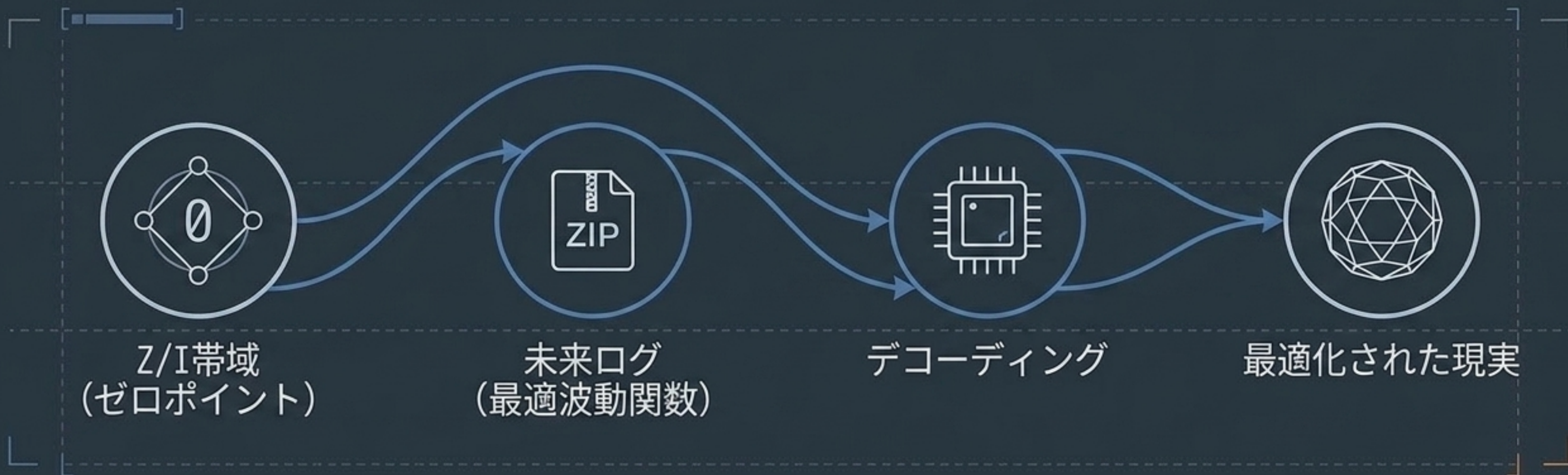
[LOG_ENTRY_01]

コントロールの限界：ビジネスの力技もスピリチュアルな引き寄せも、限界に達するとシステムは自壊する。

[LOG_ENTRY_02]

主語の交代：「Me（自我）」は消滅しないが、レンダリングの管理者権限を強制的に手放す。

次世代アーキテクチャ：「I/Z OS」のデコードモデル



[SYSTEM SPECS]

データソース：Z/I帯域に保持されている未来ログ

レンダリング手法：パケット化されたZipファイルをダイレクトにデコード

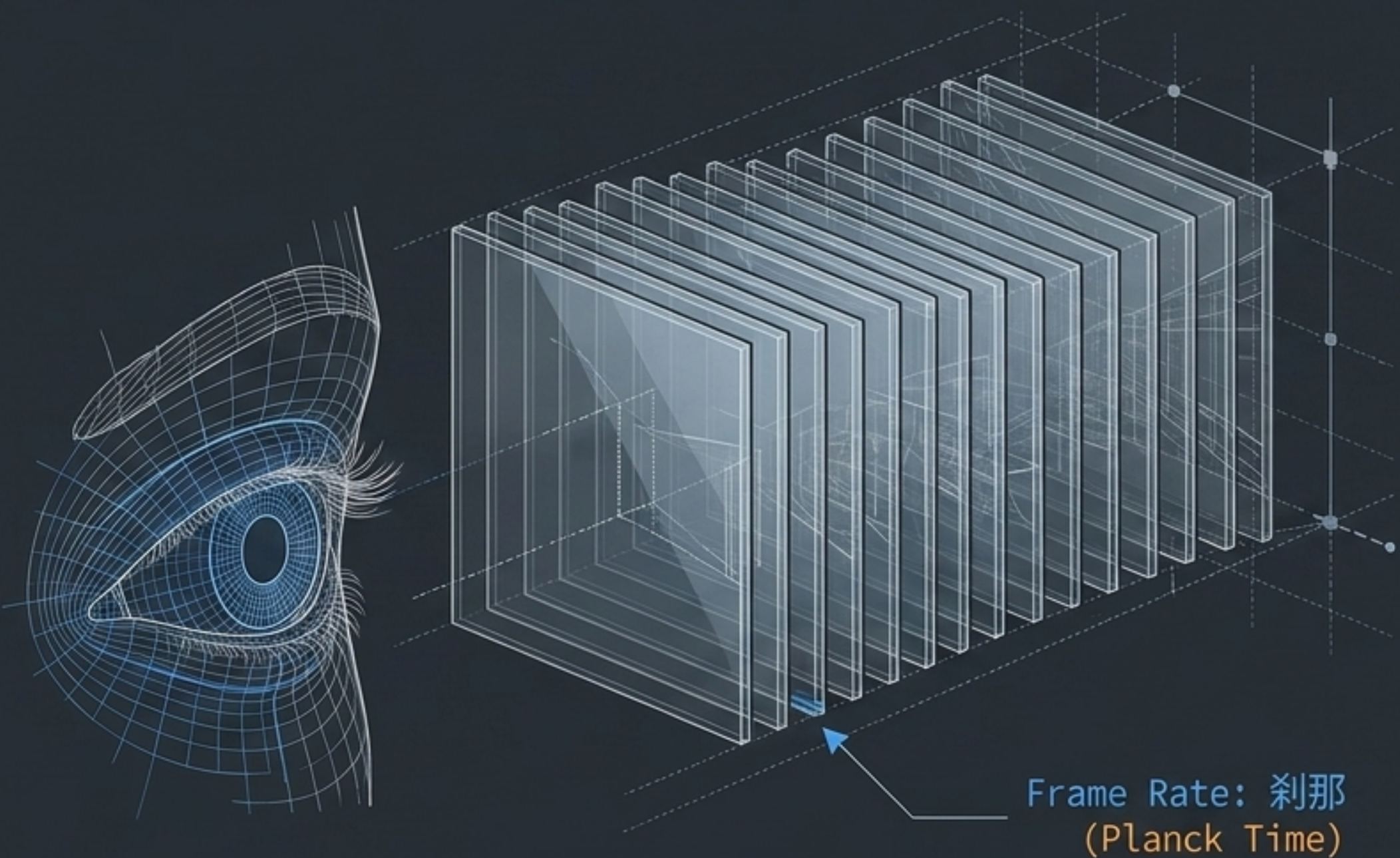
システム負荷：Me OSによる干渉・抵抗がなく摩擦ゼロ

結果：想定をはるかに超えるジャンプアップしたシナリオの自動展開

システム仕様比較：Me OS vs. I/Z OS

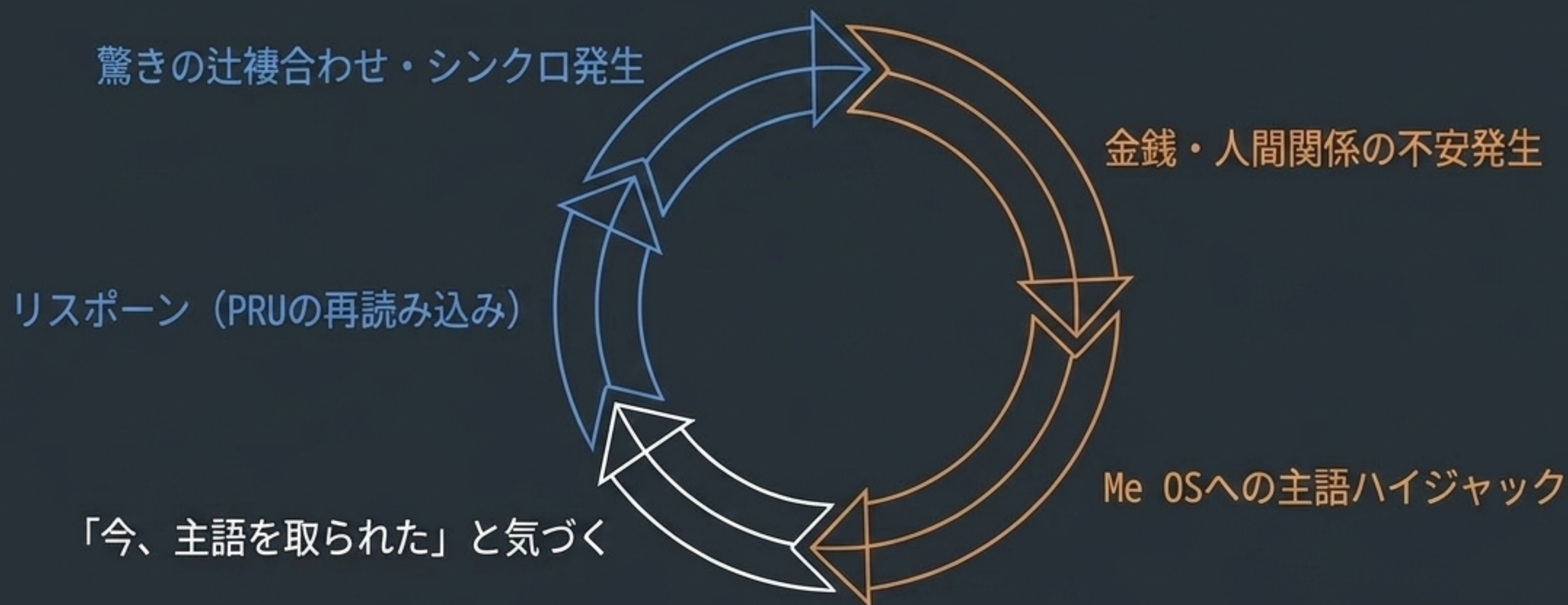
比較項目	Me OS	I/Z OS
データの出所	過去ログ（トラウマ・固定観念）	未来ログ（Z/I 帯域の最適波動関数）
処理方式	投影モデル（Projection）	デコードモデル （Streaming / Unzipping）
脳内ネットワーク	デフォルト・モード・ネットワークの固定化	エントロピック・ブレイン （柔軟な配線）
稼働の動機	生存本能・恐れ・ファイト・オア・フライト	ナッシング・ジャスト・ビー ー・アメイズド

PRUエンジンとホログラフィック・フレームレート



- ▶ 現実のGPU：現実は連続しているように見えるが、実は超高速のパラパラ漫画。
- ▶ 超高FPSの世界：10のマイナス何十乗という単位でPRUは現実を再描写し続けている。
- ▶ 一貫性の錯覚：Me OSは過去のデータを使ってこのコマとコマを辻褄合わせし、連続した現実だと思い込ませている。

トラブルシューティング：バグ発生とリスポーン



アップデート直後は動作が不安定になる。Me OSのキャッシュに飲まれても、それに「気づく」だけですぐにI/Z規格の読み込みに復帰できる。遅れた分は最適な形に自動修正される。

システム出力：「ただ驚け（Just Be Amazed）」フェーズ

9

TARGET: ACHIEVED ▶
STATUS: STABLE ▶
OUTPUT: OPTIMAL ▶

1ヶ月で9冊の書籍執筆

摩擦係数ゼロの創造：
過去の常識に基づく投影型では起きないスピードでの現象化。

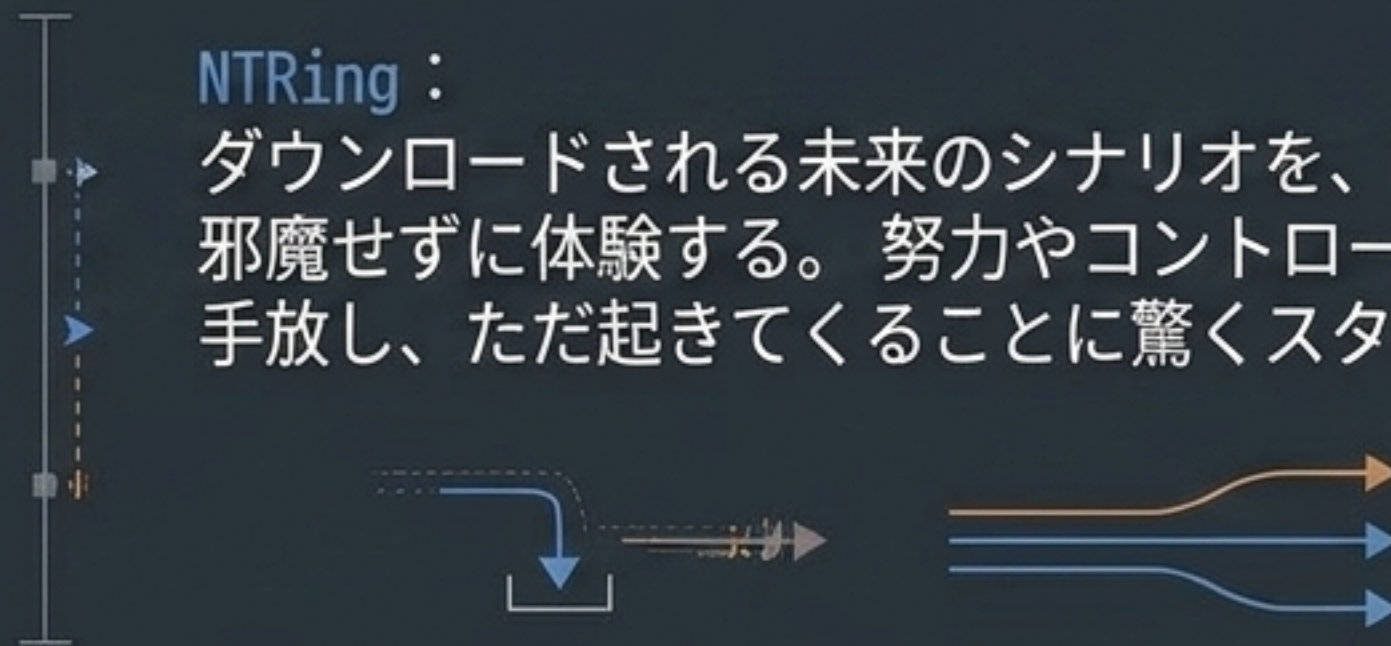


3

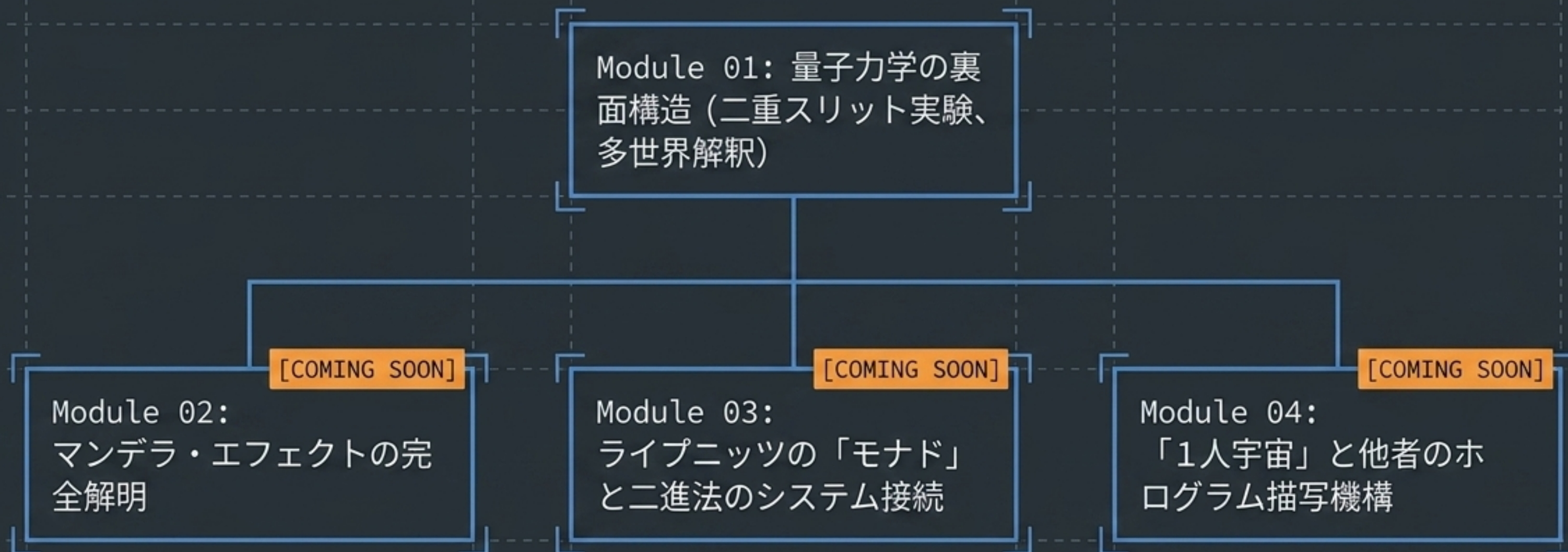
TIME: Q1 ▶
PHASE: COMPLETE ▶
EFFICIENCY: MAX ▶

3ヶ月で新サービス完全ローンチ

NTRing：
ダウンロードされる未来のシナリオを、Meが
邪魔せずに体験する。努力やコントロールを
手放し、ただ起きてくることに驚くスタイル。



今後の拡張モジュール：次期アップデート予告



これらの概念がシステムとしてどう成立しているのか、順次公開予定。

物理世界はそのままに、光が最適化される



家族も、職場も、人間関係も消えて無くなるわけではない。

ただ、Me OSの重いフィルターが外れることで、それらを照らす「光」が最も洗練された形へと変わるだけ。

また別の時空で、別のレンダリング帯域でお会いしましょう。